

第6学年*組 外国語活動指導案

1 単元名 Lesson 5 Let's go to Italy.

2 目標

- 話し手の工夫を用いて積極的に自分の思いを伝えようとしたり，聞き手の工夫を用いて相手の話を注意深く聞こうとしたりする (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 話し手の工夫，聞き手の工夫，行きたい国の尋ね方と答え方，理由の尋ね方と答え方に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- 話し手の工夫と聞き手の工夫が大切であることや，英語と日本語では，国名の言い方が違うことに気付く。(言語や文化に関する気付き)

3 指導にあたって

本単元は，世界の国々を題材にしている。世界には様々な国があることを知り，世界の国々に関心をもつことができる。児童は行きたい国や理由を伝え合うことで，自分の思いを伝えたり，相手の話を聞こうとしたりすることのできる題材になっている。

外国語活動に関する児童の意識調査の結果は次の通りである。

(第6学年*組 *人，*月*日実施)

1	インタビュー活動は，楽しいですか。	とても楽しい (*名)	楽しい (*名)	あまり楽しくない (*名)	楽しくない (*名)
2	インタビュー活動で相手に分かりやすく答えるように意識しましたか。	意識した (*名)	意識していない (*名)		
3	インタビュー活動で相手に分かりやすく質問するよう意識しましたか。	意識した (*名)	意識していない (*名)		
4	意識していない理由は何ですか? (複数回答)				
	早くポイントを集めたかったから	(*名)	やりとりする情報に興味が無かったから	(*名)	
	その他	(*名)			

意識調査の結果から，外国語活動のインタビュー活動を楽しんでいる児童は多い。しかし，相手に分かりやすく質問しようとして意識したり，答えようとして意識したりしている児童は少ない。相手を意識してインタビューしようとするに課題があることが分かった。また，相手に分かりやすく質問するよう意識したと答えなかった児童たちは，理由として「早くポイントを集めたかった。」といったゲーム的要素を強く意識していたことや，「やりとりする情報に興味が無かった」ことを挙げており，今までのインタビュー活動が，児童にとって情報の授受が目的となるようなものではなかったことが分かった。

そこで本単元では，行きたい国の尋ね方と答え方，そして，その理由の尋ね方と答え方に十分に慣れ親しませた後，行きたい国とその理由を伝え合うコミュニケーション活動を行う。児童が自分の行きたい国とその理由を尋ねたり，答えたりすることで，話し手の工夫（相手の理解の状況を確認すること，強調すること，繰り返すこと）と聞き手の工夫（自分が理解できていることを示すこと，繰り返しを求めること，問い返すこと）を用いて情報を授受する活動にしていく。その活動を通して，話し手の工夫を用いて，積極的に自分の思いを伝えようとする態度と，聞き手の工夫を用いて，相手の話を注意深く聞こうとする態度を育み，相手意識をもってコミュニケーションを凶ろうとする態度を育てていきたい。

4 指導と評価の計画 (4時間取り扱い)

(1) 本単元の指導と評価について

時	学習のねらい及び学習活動	評価の観点			
		関	慣	気	評価の規準
1	話し手の工夫と聞き手の工夫が大切であることに気付く。 英語と日本語では，国名の言い方が違うことに気付く。 ・モデル会話を見聞きする。 ・国旗クイズを行う。			○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の工夫と聞き手の工夫が大切であることに気付いている。 ・英語と日本語では，国名の言い方が違うことに気付いている。
2	話し手の工夫と聞き手の工夫に慣れ親しむ。 ・チャンツをする。 ・伝言ゲームをする。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の工夫と聞き手の工夫を用いて話している。
3	行きたい国の尋ね方，答え方の表現に慣れ親しむ。 行きたい国の理由の尋ね方，答え方の表現に慣れ親しむ。 ・チャンツをする。 ・国取りゲームをする。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国を尋ねたり，答えたりしている。 ・行きたい国の理由を尋ねたり，答えたりしている。
④ 本時	話し手の工夫を用いて，積極的に自分の思いを伝えようとしたり，聞き手の工夫を用いて，相手の話を注意深く聞こうとしたりする。 ・モデル会話を見聞きする。 ・チャンツをする。 ・行きたい国とその理由を伝え合うコミュニケーション活動を行う。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の工夫を用いて，積極的に自分の思いを伝えようとしたり，聞き手の工夫を用いて，相手の話を注意深く聞こうとしたりしている。

5 本時の活動

(1) ねらい

話し手の工夫を用いて、積極的に自分の思いを伝えようとしたり、聞き手の工夫を用いて、相手の話を注意深く聞こうとしたりする。

(2) 本時の評価規準

話し手の工夫を用いて、積極的に自分の思いを伝えようとしたり、聞き手の工夫を用いて、相手の話を注意深く聞こうとしたりしている。

(3) 準備・資料 振り返りカード、友好シート、お助けカード

(評)は評価、◆は努力を要する児童への手立て)

児童の学習	指導上の留意点及び評価	
	HRT	AET
<p>1 挨拶をする。 Hello, Mr.suzuki,Kati. I'm fine./good./so-so./ sleepy./hungry.</p> <p>2 ウォームアップをする。 ・クリスクロスゲームをする</p> <p>3 本時のめあてをつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">親善大使になろう！</div></p> <p>4 モデル会話を見聞きして、気付いたことについて発表する。 ・モデル会話を見聞きして、話し手の工夫について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Hello, everyone. • 自分の気持ちをそれぞれ表現してよいことを伝える <ul style="list-style-type: none"> • 本時のめあてを確認する • 行きたい国とその理由を伝え合うことを伝える。 • 親善大使としてどのように尋ねたり、答えたりしたらよいかを児童に尋ねる。 <ul style="list-style-type: none"> • AET とモデル会話を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • Hello, everyone. • How are you? • 元気に挨拶し、クラスを明るいきれな雰囲気にする。 • 児童に質問する。 Can you play baseball? Can you swim ? <ul style="list-style-type: none"> • HRT とモデル会話を行う。
	<p>【モデル会話①】 話し手の工夫に気付かせる。 A:Where do you want to go ? B:無反応 A:Where do you wanto go ?(繰り返す。) B:無反応 A:Where do you want go ?(強調する。) B:無反応 A:Do you understand ? (聞き手の理解の状況を確認する。) B:Yes, I want to go to America. A:I want to go to America,too.</p>	
<p>・モデル会話を見聞きして、聞き手の工夫について考える。</p>	<p>【モデル会話②】 聞き手の工夫に気付かせる。 A:I want to go to Italy. B:Speak slowly please. (繰り返しを求める。) A:I want to go to Italy. B:Once more please. (繰り返しを求める。) A:Yes, I want to go to Italy. <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(自分の理解を示さない) A:I want to go to America. B:(無反応) A:I want to see Ichiro. B:(無反応)</div><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">(自分の理解を示す) . A:I want to go to America. B:Really ? America ? Why do you want to go to America ? A:Because I want to see Ichiro. B:OK. I see. That's good.</div></p>	
<p>5 チャンツをする。 Where do you want to go? I want to go to Italy.</p> <p>6 行きたい国とその理由を伝え合う コミュニケーション活動を行う。</p> <p>① HRT と AET のデモンストレーションを見る。</p> <p>②行きたい国とその理由を伝え合う</p> <p>7 今日の活動の振り返る。 ・今日の活動を振り返りカードに書く。</p> <p>8 終わりの挨拶をする。 ・ Good-bye, Mr.Suzuki,Kati. See you next week.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • AET とチャンツを行う。 • チャンツの中で、AET の質問に対してジェスチャーをする。 • AET とデモンストレーションを行う。 • 友好シートの記入の仕方を説明する。 • 困った時には、お助けカードを見て、尋ねたり答えたりすることを話す。 ◆質問できずに戸惑っている児童には、行きたい国と理由を尋ね、尋ね方の見本を示す。 ◆相手が見つからない児童と一緒に活動して、相手を見つけたり、行きたい国とその理由を尋ねたりする。 (評)話し手の工夫を用いて、積極的に自分の思いを伝えようとしたり、聞き手の工夫を用いて、相手の話を注意深く聞こうとしたりしている。(行動観察・友好シート・振り返りカード) • 振り返りカードに今日の感想を記入するよう指示する。 • Good bye, everyone. See you next week. 	<ul style="list-style-type: none"> • HRT とチャンツを行う。 • リズムに合わせて大きな声でチャンツを行う。 • HRT とデモンストレーションを行う。 • 児童に行きたい国とその理由を尋ねる。 • 児童が用いる話し手の工夫、聞き手の工夫によって話すスピードを変化させる。 • 聞き手の理解の状況を確認する表現を使って話す。 ◆相手が見つからない児童と一緒に活動して、相手を見つけたり、行きたい国とその理由を尋ねたりする。 • Good bye, everyone. See you next week.